

患者に寄り添う緩和ケア病棟

医療法人ガラシア会 ガラシア病院



デイルームではシスターの高野さんやボランティアスタッフが患者の穏やかな日常を支える

患者の幸せを第一に考え “その人らしい最期”を支援

ガラシア病院は、回復期と緩和ケアを担う後方支援病院として、患者の心身に寄り添う医療を展開。とりわけ緩和ケア病棟では、パストラルケアワーカーやボランティアを加えた医療チームで、患者が残された時間を穏やかに過ごせるように支えている。

パストラルケアを通じて 患者との信頼関係を構築

医療法人ガラシア会ガラシア病院は、1953年にキリスト教の愛に基づいた医療奉仕を目的に大阪市西区に設立された。病院名は、明智光秀の娘で熱心なカトリック信者として知られる細川ガラシアに由来する。その後、60年に宗教法から医療法人に移行し、69年に現在地である大阪府箕面市に移転した。

同院は、開設当初から長年にわたって急性期医療に携わってきたが、時代とともに、同市を含む北摂エリアは大学病院や公的病院、民間病院といった高度急性期・急性期病院が林立する“激戦区”へと変貌していった。

同院のような中小規模の病院は苦戦を強いられることになったが、その一方で、地域の高齢化に伴って亜急性期の充足も求められるよ

うになってきた。そこで同院は医療提供体制の見直しを図り、2005年に緩和ケア病棟(23床)を開設。現在は、緩和ケア病棟(46床)と回復期リハビリテーション病棟(58床、うち、地域包括ケア33床)を擁した後方支援病院として機能している。

同院の緩和ケア病棟は、許可病床104床の4割以上を占めていることからわかるように、多くの終末期の患者を受け入れる体制が整備されており、多職種で寄り添う医療”を実践している。

医師の伊藤則幸ホスピス長を中心にとした医療チームは、看護師や薬剤師、セラピストといった医療職はもとより、チャプレンやシスター、地域のボランティアらも加えて構成。伊藤ホスピス長は、「一般的なチーム医療とは異なり、ホスピスでは、患者さんやご家族の心のケアは不可欠です」と話す。その言葉どおり、患者の入院時



終末期の患者を支える伊藤ホスピス長(前列中央、チャプレンの松本理事(前列左)ら緩和ケア病棟のスタッフの皆さん



には病棟の看護師が本人と家族の思いをしっかりと傾聴したうえで、残された時間を安寧にすごせるように信頼関係の構築に努めているという。パストラルケア(心理面のケア)においては、チャプレンの松本信愛理事とシスターの高野美智代さんの存在も大きい。「宗教に関係なく、人として患者さんの悩みや苦しみを支えるのが、わ

れわれの使命です」と松本理事は語る。

取材当日、デイルームでは患者がボランティアで訪れたキーボード奏者の奏でる曲に合わせて歌を口ずさみ、シスターの高野さんはそばでやさしく微笑んでいた。患者の穏やかな表情からも、パストラルケアの重要性がうかがえる。

病棟のリニューアルに伴い 安寧に過ごせる環境を実現

同院は19年に建物の新築工事を終え、緩和ケア病棟もリニューアル。ハード、ソフトの両面から、医療サービスにさらなる磨きをかけた。

デイルームには明るい自然光が差し込み、見晴らしのよい屋上からは、市街地の風景を眺望できる。車いすやストレッチャーが容易に行き交える幅の広い廊下、機械浴槽が完備された浴室、宿泊可能な家族用の控室など、患者と家族に配慮された設備が至るところに施されている。

特徴的なハードといえば、やは

り併設する教会だ。数年前に、ここで患者家族の結婚式が行われたこともある。その患者は、看護師らのサポートによって車いすで参列。ウエディングドレスをまとった愛娘とともにバージンロードを歩み、幸せそうな笑顔を見せていたという。

「疼痛コントロールも含め、その患者さんにとって『何が幸せか』を最優先しています」と伊藤ホスピス長は強調する。

さらに、患者が旅立った後の家族へのケアにも定評がある。同院では故人を偲ぶ「ゆりの会」を毎月実施。逝去から4カ月後、1年後の節目には、担当看護師のメッセージを添えて遺族に案内の手紙を送る。会の当日はチャプレンの講話や茶話会が行われ、遺族らは故人との思い出を語り合う。この会に参加して気持ちがあ前向きになり、その後、ボランティアとして同院にかかわるようになった遺族も少なくない。同院は、こうした人と人とのつながりも大切にしている。

緩和ケア病棟の患者のほとんどが末期がんだ。なかには、生きる希望を抱いて積極的に治療に臨んでいた患者が突然、同院に転院するといったケースも少なからずある。「患者さんの心身のダメージを考慮し、急性期病院からホスピスへ円滑に移行する地域の連携体制を見直すことが、現状における大きな課題です」(伊藤ホスピス長)



医療法人ガラシア会
ガラシア病院

住所 大阪府箕面市粟生間谷西6-14-1
TEL 072-729-2345
URL <http://www.gracia.or.jp>
病床数 104床
診療科 9診療科
職員数 160人